

令和 7 年度の学校評価

本年度の 重点目標	① 教育目標にある「知性ある社会人、品格ある教養人、気力ある生活人」の育成に向けた教育活動を充実させる。 ② 「文武両道」を基本理念として、学習、学校行事、部活動、ボランティア活動等への主体的な取組を推進する。 ③ 教育課程のさらなる充実を図るとともに、今の大学入試制度に対応した進路指導体制を整え、第一希望進路の実現を目指した指導を充実させる。 ④ 自他の命を大切にし、よりよい社会を実現しようとする態度を養うとともに、健康や安全、防災にかかる意識の向上を図り、将来にわたって健康かつ安全に生活するための知識や態度を養う。 ⑤ 男女共同の社会参画を目指し、社会の一員として個性や能力を発揮できる意欲や態度を養う。 ⑥ 生徒一人1台端末を活用したICT教育の充実を目指し、情報モラル等規範意識の確立を図り、望ましい社会性と公正さを重んじる心を養う。 ⑦ PTA、同窓会、地域との連携を図り、さらなる情報発信に努め、開かれた学校づくりを推進する ⑧ 事務処理の効率化、年次休暇取得の推進など、多忙化防止への取組を推進し、職員の健康の保持増進や働き方改革を推進する。		
項目（担当）	重点目標	具体的方策	留意事項
勤務時間の適正な管理及び長時間労働による健康障害防止（管理職）	在校時間等調査の活用による健康管理 職員の健康障害防止のための環境整備	・在校時間等の状況記録を活用し、業務の適正配分に留意するとともに、教職員の良好なメンタルヘルスの保持に努める。 ・教職員の年次休暇の計画的な使用をうながすための環境を整備する。	・在校時間等の調査記録が1か月80時間を超える教職員については、面接指導調査の希望の有無や健康状態の確認を行う。また、退校時間を一定に定め、校舎の施錠時間を徹底する。 ・年次休暇の計画的取得はもちろん、普段の声かけ等を通して健康状態の把握に努め、必要なときに休暇を取得しやすい雰囲気をつくる。
地域連携（総務部）	校内施設・備品等の整備 PTA・同窓会・地域との連携 防災対策の充実 学校ホームページの安定更新	・校内施設の整備に前年度の内容を反映 ・PTA活動の活性化と教職員との連携強化 ・委員会活動を通じた防災意識向上の推進 ・学校ホームページ業務の整理	・修理も含めて、老朽化した物品や施設等の整備を行う。 ・保護者へ積極的に情報を発信し、PTA活動の円滑な運営を補助する。 ・防災意識向上のため、防災・減災委員会を定期開催する。 ・学校ホームページ更新業務の洗い出しとその取りまとめを、年度当初に実施する。
学習指導（教務部）	あいちラーニング推進事業を通じ、学習活動のより一層の活性化を図る	・観点別評価の中でも、「主体的に学習に取り組む態度」について、各教科の見方・考え方を働かせた深い学びから、評価の方法を模索していく。	・旭野高校生に適した評価方法を模索することを意識する。
進路指導（進路指導部）	第一志望校現役合格のための「進路指導体制」の充実	・学力伸長の体制づくり ・学力の正確な把握 ・進路情報の提供と共有	・進路LT・補習を充実させる。 ・校外模試の分析の活用を図る。 ・各学年において必要な進路情報の収集と提供・共有。
生徒指導（生徒指導部）	基本的生活習慣の確立 規範意識・モラル・マナーの向上	・遅刻防止指導、交通安全指導 ・服装、身だしなみの指導 ・挨拶の励行 ・情報モラルの教育	・学校生活のみならず、社会生活を営む上で必要な基本的生活習慣を身につけさせる。 ・情報モラルに関する知識を身につけさせ、危機管理能力の向上を図る。 ・いじめの情報を全教職員で共有し、学校全体の問題として事案に対処する。
生徒指導（生徒会部）	学校祭の充実	・企画時の適切な情報発信 ・HR、部活動との連携の強化 ・委員会活動の充実	・生徒が主体となってつくる充実した学校祭となるように、情報発信の内容を検討し、適切なタイミングで発信するように努める。教員間や生徒との共通理解を得るべく、積極的に情報交換を行い、改善に努める。
読書指導（図書部）	図書館利用の促進	・読書推進活動の充実 ・図書委員会の活性化	・教科や学年とも連携を図りながら、生徒への読書指導及び図書館利用の働きかけを積極的に行う。 ・図書委員が主体的に活動できるように支援する。
保健・安全・美化指導（保健部）	心身の健康と安全な学習環境の構築	・健康診断と保健指導の充実 ・安全な環境衛生の維持・改善 ・心身の健康管理の支援の深化	・健康診断の結果を活かし、適切な健康管理を行う。 ・迅速に情報を収集し、個々に適した保健指導を行う。 ・ごみの持ち帰り・分別の徹底を図り、校内美化の徹底を目指して学習環境を整える。 ・安全点検を毎月実施し、危険箇所の早期発見と修繕に努め、安全な環境をつくる。 ・ケース相談会を実施し、情報の共有・早期対応に努める。
生徒指導（1年）	活力ある高校生活の実現	・挨拶の励行と環境美化意識の育成 ・学習習慣を定着させる学習指導の実践 ・個人面談の実施	・部活動や学校行事等への積極的な参加を促す。 ・自己の適性や興味関心を探らせ、学習意欲を喚起する。 ・養護教諭等との連絡を密にする。
生徒指導（2年）	自主性から主体性へ	・意欲的な学習習慣の育成 ・学校行事などへの積極的な参加 ・好ましい社会性の育成	・授業や課題を最大限に活用し、基礎学力の定着を図る。 ・計画を立てて自ら学ぶ姿勢と家庭学習の習慣をつけさせる。 ・行事などを通して、社会性を身につけさせる。 ・品格ある行動を意識させる。
生徒指導（3年）	個に応じた進路指導	・受験に対応した学力の育成 ・生徒理解・適切な対応 ・行事参加と受験への切り替え	・授業や補習などを最大限に活用し、受験に対応できる学力の伸長を図る。 ・生徒に応じた進路指導を通して、進路実現を図る。 ・主体的に学習できる力を育成する ・3年生としてふさわしいリーダーシップを発揮し、主体的に行動させる。 ・受験への切り替えをしっかりとさせる。
学校関係者評価を実施する主な評価項目		・学習指導の充実について ・進路指導の充実について ・生徒指導の充実について	